

Special Need Education Research Center

## SNERC通信

(第17号-2010年5月)

国立大学法人 筑波大学  
特別支援教育研究センター  
センター長：河内 清彦  
〒112-0006 東京都文京区小日向2-16-15  
TEL&FAX：03-3942-6923  
<http://www.human.tsukuba.ac.jp/snerc/>  
mail：snerc@human.tsukuba.ac.jp

## ■ 巻頭言

## 「特別支援教育研究センター長に着任して」

筑波大学特別支援教育研究センター長 河内 清彦

この4月より特別支援教育センター長となり、筑波から、センターの仮移転先である小日向に通っております。着任後まだ日も浅く、今後、みなさま方のご指導・ご支援の中で、センターの機能・役割についてさらに理解を深め、センターの今後の発展を期したいと考えております。

さて、センターが現在果たしております、①連携・コーディネーター機能、②研究開発機能、③教員研修機能、④理解啓発・交流機能は、全て附属特別支援学校と障害科学系との協力・協働なくしては実施できないものばかりです。

私をはじめ、障害科学系の教員にとって、附属特別支援諸学校は、教育実践の場として無くてはならない存在です。なぜならば、障害科学の本質は実践科学だと考えているからです。

今日、社会が大学に求めている研究成果は、社会のさまざまなニーズに対応できるものです。そのためには、基礎研究だけでは十分でなく、社会に還元できる成果を提供することが求められています。このような成果を上げるためには、実践的な研究を受け入れることのできる基盤をもち、優れた研究を具現化できる研究の場が不可欠となります。これらの課題をクリアできるのは、やはり附属特別支援諸学校ではないでしょうか。

一方、附属特別支援学校も、障害児教育の「専門性」を維持・向上させるためには、障害科学系の教員との協力が必要となるでしょう。ここで言う「専門性」とは、継承・継続できる指導法・教授法などです。つまり、一個人によって考案され、その個人の技量に依存するものではなく、一定のルールに従えば、誰にでも実現可能なものということです。このためには、そういった指導法や教授法が、社会科学の研究法に基づいて作り出される必要があります。実際の教育・指導の場での実践的な知識・技能を、科学的な目で分析・整理し、統合していくことは、実践の場の教員を障害科学系の教員が支援し、共に考えながら行うことで、大きな力が発揮できるものと思えます。

このように考えてくると、今日の特別支援教育を発展させるためには、筑波大学の附属特別支援学校と障害科学系とが、これまで以上に協力体制を強化することが必要であり、その架け橋となるのが当センターの重要な役割であると考えます。そこで、今年度のセンターのモットーとして、次のことば、「実践なくして、研究なし。研究なくして、実践なし。」を提唱したいと思えます。みなさま方のご支援と、ご協力を、どうぞよろしくお願い致します。



## ■「特別支援教育研究センターの役割」

あと1年の任期を残してこの4月から附属大塚特別支援学校長を務めることになり、センター長としての役割を十分に果たせず、少々残念に思っております。と申しますのも、この2年間を通して改めて本センターの存在感と役割の重さを実感したからです。

1つは、センターの使命である附属特別支援学校5校および学系との教育的・研究的連携の推進です。一昨年からはセンターでは、それぞれの附属学校の専門性を生かした連携研究に重点を置いて支援し、研究成果を年度末のセンターセミナーで発表していただいております。年ごとに充実する成果発表を見て、各附属学校が培ってきた障害種ごとの専門的教育実践を生かした協同的取り組みの特別支援教育における重要性を実感しております。

今ひとつは、各県から派遣される現職教員の長期研修事業です。2年前に特別支援教育専攻が開設され、東京キャンパスで長期研修生も授業を受講できるようになり、附属学校5校での実践的研修と共により充実した研修プログラムが実現されたのです。

今後は、役職が変わっても、こうしたセンターの先導的・事業と成果をより広く知ってもらいたいと願っております。皆様方のご支援もどうぞよろしくお願いいたします。



## ■センター事業の紹介【現職教員研修】

現職教員研修事業は、特別支援教育体制の推進のために本センターの中核的・事業として平成17年度より発足しました。指導法において専門性の高い教員及び特別支援教育コーディネーター養成のため、一定の教育経験を持つ教員等を対象に、附属視覚特別支援学校、附属聴覚特別支援学校、附属大塚特別支援学校、附属桐が丘特別支援学校及び附属久里浜特別支援学校とセンターでの講義・演習と大学での講義聴講を組み合わせた長期研修プログラムを提供し、特別支援学校及び特別支援学級等教員の専門的実践力の更なる向上に取り組んでいます。また、平成21年度より、海外からの現職教員の受け入れを開始し、国際教育協力にも貢献しています。

研修生は、指導法研修重視型コース、特別支援教育コーディネーター養成型コースのいずれかのコースを選択し、本学の施設・設備を利用し、指導教官の指導のもとに研修を行います。

## ■平成22年度現職教員研修の開講式が行われました。

4月5日に特別支援教育研究センターの現職教員研修開講式を開催しました。今年度は、7名の研修生を迎え、附属特別支援学校5校を実践研修のフィールドとし、プログラムがすすめられます。



平成22年度 現職教員研修生のみなさん

## 現職教員研修生の勤務先および主たる研修校

氏名	勤務先	主たる研修校
上田 日登美	長野県立小諸養護学校	附属大塚特別支援学校
皆川 友紀子	秋田県立聾学校	附属聴覚特別支援学校
工藤 智史	秋田県立比内養護学校かづの分校	附属大塚特別支援学校
齋下 徹	静岡県立富士特別支援学校	附属大塚特別支援学校
成田 晶子	埼玉県立宮代特別支援学校	附属桐ヶ丘特別支援学校
藺牟田 明	千葉県立袖ヶ浦特別支援学校	附属桐ヶ丘特別支援学校
中本 千絵	千葉県立松戸特別支援学校	附属桐ヶ丘特別支援学校

## ■ 5 部門会議構成員が決まりました。

5 部門会議は、センタースタッフと附属特別支援学校 5 校の教員（下表参照）で構成され、センターと附属特別支援学校との連絡・調整及び、学校間の連携事業を推進するものです。各校の取組等についての情報を交換し合う中で、それぞれの専門性を活かした教育実践に発展し、連携へとつながっていくことが期待されます。

平成 22 年度 センタースタッフ

センター長・教授	河内 清彦
教授	藤原 義博
教授	安藤 隆男
教授	長崎 勤
助教	左藤 敦子
教諭（視覚特別支援学校）	間々田 和彦
教諭（聴覚特別支援学校）	日高 雄之
教諭（大塚特別支援学校）	野村 勝彦
教諭（桐が丘特別支援学校）	城戸 宏則
教諭（久里浜特別支援学校）	日山 美子

平成 22 年度 5 部門会議構成員名簿

附属視覚特別支援学校	丹治 達義 宮崎 善郎 江村 圭巳
附属聴覚特別支援学校	両角五十夫 佐藤 幸子
附属大塚特別支援学校	安部 博志 高橋 幸子 比嘉 展寿
附属桐が丘特別支援学校	杉林 寛仁 田丸 秋穂 松本 美穂子
附属久里浜特別支援学校	瀬戸口裕二 安田まゆの

## ■ 巻末言

一時移転している旧文京 5 中のグラウンドでは、保育園建設工事が始まり、毎日、工事の音が聞こえています。

今はまだ基礎工事の段階のため、どのような建物になるのかを見守りつつ、園児達の声が聞こえる日を楽しみにしているところです。工事の音やこれから迎える暑さと格闘しながら、建設中の建物のように、計画的にセンターの仕事を進めていければと思います。（日山）



## 「筑波大学特別支援教育研究」第5巻への投稿論文等を募集しています。

センターでは、「筑波大学特別支援教育研究」を年1回発行しています。第5巻の論文等を募集します。投稿を希望される方は、期日までに以下の5項目を編集委員会までご連絡ください。

- (1) 執筆代表者名, 所属
- (2) 表題, キーワード (3つ)
- (3) 論文の種別【学術論文, 実践報告】  
※論文の種別につきましては、編集規定及び執筆規定をご覧の上、ご記入ください
- (4) 連名著者の全員の氏名と所属
- (5) 執筆代表者の連絡先 (自宅または勤務先の住所, 電話番号, メールアドレス)

申込先：特別支援教育研究センター

○メールアドレス：snerc@human.tsukuba.ac.jp

○Fax：03-3942-6938 ※ホームページより申込用紙をダウンロードできます。

○住所：〒112-0006 文京区小日向2-16-15

申込期日 平成22年6月30日(水)

投稿論文期日：平成22年8月31日(火)

申込はできるだけ電子メールでお願いいたします。件名に「筑波大学特別支援教育研究投稿申込」とお書きください。また、編集規定及び執筆要綱は、特別支援教育研究センターのホームページにてご覧いただけます。

特別支援教育研究センターHP：<http://www.human.tsukuba.ac.jp/snerc/>

問合せ先：特別支援教育研究センター [snerc@human.tsukuba.ac.jp](mailto:snerc@human.tsukuba.ac.jp)

## ●●● 筑波大学特別支援教育研究センター 交通アクセスのお知らせ ●●●●●

### 電車でのアクセス

江戸川橋駅 (東京メトロ有楽町線)  
下車「3」又は「4」出口徒歩4分

### 住所

〒112-0006  
東京都文京区小日向2-16-15  
(旧文京区立第五中学校)

移転先の地図については、大学ホームページの交通キャンパスマップ Google 版で確認できます。

